

<p>歯周科</p>	<p>歯周基本治療</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周病患者の病状・病態を理解し、歯周基本治療を適切に実施するための知識・技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・歯周病検査の結果から、歯周病の原因及びリスクファクターを説明できる。 ・SRPにおいて正しいスクレーラーが選択できる。 ・適切なポジションニングでSRPが実施できる。 ・ポケット内洗浄が実施できる。 ・歯周治療におけるレーザーの応用を見学する。</p> <p>【準備学習項目】 ・歯周病の発症と進行に関わる病因を説明できる。 ・歯周基本治療の種類を説明できる。 ・歯肉縁上及び縁下歯石の特徴を説明できる。 ・SRPで使用するスクレーラーの操作を説明できる。 ・化学的プラークコントロールを説明できる。 ・軟組織に使用するレーザーの効果の説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 患者実習</p> <p>【学生へのメッセージ】 歯周治療を成功に導くために、歯周基本治療は重要な原因除去療法です。歯周治療の知識や技術を少しでも多く得て将来のために役立てていきましょう。</p>	<p>★小方 頼昌 ★中山 洋平 ★高井 英樹 ★目澤 優 ★鈴木 菜月 ★星 雅子 ★虎見 和代</p>
<p>保存科 (歯内療法)</p>		<p>【授業の一般目標】 最新の歯内療法の診療に参加ができるようになるために、顕微鏡及び最新の器具 (NiTiファイル等) を用いた歯内療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①顕微鏡を用いた歯内療法の特徴を説明できる。 ②顕微鏡を用いた歯内療法の準備・介補ができる。 ③歯内療法の最新の器具の特徴を説明できる。 ④最新の器具を用いた歯内療法の準備・介補ができる。</p> <p>【準備学習項目】 今まで修得した歯内療法の確認</p> <p>【学習方略 (LS)】 診療室で実践をしながら習得する。</p> <p>【学生へのメッセージ】 歯内療法は無菌処置を徹底します。 細かく、先端が鋭い器具を使用しますので、扱いに注意するように。</p>	<p>★松島 潔 ★辻本 恭久 ★川島 正 ★岡部 達 ★神尾 直人</p>

<p>保存科 (保存修復)</p>		<p>【授業の一般目標】 口腔に関する健康意識とQOL向上のために、歯科衛生士として歯科審美治療の中でも特に漂白処置に対する知識、技能及び態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活歯漂白における予知性のある検査と診断ができる。 2. 生活歯漂白用薬物の取扱いについて説明できる。 3. 生活歯漂白の作用機序について説明できる。 4. 生活歯漂白の種類とその術式が説明できる。 5. オフィスブリーチが実施できる。 6. オフィスブリーチ後の注意事項を説明できる。 7. カスタムトレーの作製ができる。 8. ホームブリーチにおける患者説明ができる。 9. 漂白後に生じる偶発症とその対処法について説明できる。 <p>【準備学習項目】 2年次で行った漂白に関する講義を復習しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 < 1日目 > 午前：SB01～4及び9に関する講義 午後：漂白処置に必要な予知性のある術前検査の相互実習 カスタムトレー作製のための印象採得</p> <p>< 2日目 > 午前：カスタムトレーの製作実習 午後：ホームブリーチに関する講義 漂白体験1 - ホームブリーチの実際 -</p> <p>< 3日目 > 午前：オフィスブリーチに関する講義 午後：漂白体験2 - オフィスブリーチ相互実習 -</p> <p>< 4日目 > 午前：実習を通じて学んだことに関するレポートの作成 午後：作成レポートに関するプレゼンテーションの実施</p> <p>【学生へのメッセージ】 審美修復治療の中でも歯の漂白に関心のある学生はぜひ参加して下さい。将来、ホワイトニングコーディネーターを目指す基礎となります。</p>	<p>★平山 聡司 ★島田 裕美子</p>
-----------------------	--	---	------------------------------------

<p>補綴科 (クラウンブリッジ) (有床義歯)</p>		<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学では歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部あるいは全部欠損に対する補綴治療の臨床的意義及び方法を理解する。補綴装置の予防処置や指導法を立案し、義歯装着者へ説明・指導をできるようにする。印象練和で術者ヘトレーの受け渡しや、適切な石膏の注入により模型製作ができるようになり、補綴治療全般を理解し、歯科衛生士として求められる知識、技能及び態度を評価する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 補綴診療時の診療補助ができる。 2. 寒天・アルジネートによる上下顎精密印象採得と石膏注入により研究模型の製作ができる。 3. 上顎研究模型で自身の口蓋床の製作と口腔内への装着を経験し、振り返ることができる。 4. 上顎左側⑤6⑦プロビジョナルレストレーションの製作ができる。仮着用セメントの練和およびセメントアウトができる。 5. 補綴装置装着者にブラッシング指導の実地ができる。 6. 治療計画の流れと予防法の説明ができる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書や配布資料により歯科補綴治療における診療補助及び材料について学習しておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 これまでの学習から歯科医療の特徴、補綴診療の流れ、及び各補綴装置の衛生指導法から、社会に貢献できる歯科衛生士としての基盤を創る。</p> <p>【評価方法 (EV)】 歯科衛生士として求められる知識、技能及び態度を各実習日それぞれで評価する。</p> <p>【学生へのメッセージ】 実習内容 1日目 A班とB班の2班に分かれて3F・職員技工室見学と補綴科診療室での見学・介補を行う。午前と午後とでA班・B班は交代する。診療室では寒天コンディショナーの使用法と取扱いについての説明 担当 DR: 中田、DH大内 2日目 臨床実習室にて、午前：寒天・アルジネートで上・下顎右側6の精密印象採得後に石膏注入による研究用模型の製作(院内生技工室) 午後：石膏硬化後に院内生技工室で模型のトリミングによる模型調整。終了後に補綴科で診療の見学・介補 担当DR: 小川、佐藤 3日目 午前：第5実習室で2日目に製作した研究模型を持参すること。実習生は有床義歯装着者への刷掃指導が出来る様になるため、2日目に製作した自分の研究模型から上顎口蓋床を製作し、製作した口蓋床を装着して義歯を体感し、義歯装着者への説明や清掃指導ができるようにする。午後：第5実習室で上顎左上⑤6⑦のプロビジョナルレストレーション製作と仮着用セメントの練和及びセメントアウト実習 担当DR: 大村、内堀 4日目 アクティブラーニング： 学生セミナー室1・2で補綴の患者症例で医科・歯科的の既往歴、レントゲン写真から治療計画の立案と予防法に関する症例検討及び大学院セミナー室での発表会 担当DR: 中田</p>	<p>★河相 安彦 ★大村 祐史 ★中田 浩史 ★内堀 聡史 ★小川 晃奈 ★佐藤 佳奈美 ★大内 理花子</p>
--------------------------------------	--	---	---

<p>口腔外科</p>		<p>【授業の一般目標】 口腔外科治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・外来：処置の準備、患者誘導、血圧及び脈拍の測定、介補、術後説明、片付けまでの一連の流れを清潔・不潔を理解しながら行動できる。 ・病棟：周術期における口腔ケアについて理解できる。</p> <p>【準備学習項目】 『歯科衛生士のための口腔外科学』第2・3・5章を読んでおくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【学生へのメッセージ】 2・3年生の実習を通して口腔外科でより専門性を学びたい目標を自分自身で立て、実習に臨んでください。</p>	<p>★小宮 正道 ★山崎 文恵</p>
<p>小児歯科</p>	<p>①小児歯科診療 ②齲蝕予防 ③診療補助 ④小児の口腔保健管理</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における歯科衛生士業務を行うために、より専門性に特化した知識・技能・態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 小児歯科の診療体系を説明できる。 2. Four Handed Dentistryに基づいた診療補助ができる。 3. 患児の年齢や発達に配慮できる。 4. 小児歯科特有の疾病発症の機序とその予防法を説明できる。 5. 症例に応じた口腔保健管理計画を立案できる。</p> <p>【準備学習項目】 講義及び臨床実習にて学んだ全項目</p> <p>【学習方略 (LS)】 1. 診療介補及び見学 2. 小窩裂溝填塞法 (マネキン) 3. 口腔衛生指導立案</p> <p>【評価方法 (EV)】 口頭試問、レポート、出席</p> <p>【学生へのメッセージ】 「小児」という時間軸によって分類された特殊な診療科です。そのため包括的な歯科医療の知識・技能・態度が要求されます。患児の協力の下、歯科医師から指示を受け、実際に口腔内で歯面研磨やフッ化物塗布を実施することもあります。よって患児の年齢・発達に合わせた口腔衛生指導や予防処置を行う上で必要な知識・技能を事前学習し、実習に臨んでください。</p>	<p>★清水 武彦 ★小川 奈保</p>
<p>矯正歯科</p>		<p>【授業の一般目標】 歯科矯正の分野で活躍できる歯科衛生士になるため、より深い知識と技術を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 矯正治療の流れを理解し、円滑な介補ができる。 2. 抜歯非抜歯の判定について説明できる。 3. 固定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 介補の手順、不正咬合の種類、矯正装置について説明できる60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 介補見学を介して矯正治療における歯科衛生士の役割を学ぶ。 講義を介して抜歯非抜歯の判定、固定について学ぶ。</p> <p>【学生へのメッセージ】 矯正分野に興味があり、より知識を深めたい学生向けです。</p>	<p>★葛西 一貴 ★石井 かおり</p>

総合診療科		<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合歯科診療における安全・安心な歯科診療補助を行うために必要な基本的知識・技能及び態度を修得する。 <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合歯科における診療補助と口腔衛生指導ができる。 ・診療に必要な器具の準備・補助ができる。 <p>【準備学習項目】 各診療科の治療内容</p> <p>【学習方略 (LS)】 診療室での診療補助実習・口頭試問</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔な服装で実習にのぞむこと。 ・総合的知識が必要なので、各科の診療内容を理解しておくこと。 	<p>★浅野 隆 ★岩崎 正敏</p>
口腔インプラント科		<p>【授業の一般目標】</p> <p>インプラント治療に関わる歯科衛生士業務を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>インプラント治療の流れにそった歯科衛生の役割を理解する。</p> <p>インプラント治療に必要な診察・検査を理解する。</p> <p>インプラント手術を理解する。</p> <p>インプラント補綴を理解する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>教科書、講義内容やレポートを復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義及び実習</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>卒業後、インプラントの患者を担当した時に、役立つように実践した内容を指導したいと考えます。</p>	<p>★村上 洋 ★井下田 繁子 ★永田 恵実子</p>
放射線科		<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医療で行われる画像検査及び読影について修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>口内法、顎顔面部頭蓋撮影、CT、CBCT、MRIの説明ができる。</p> <p>画像検査で得られた画像の読影ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>教科書を用いて行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義及び実習</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>歯科で行う画像検査及び読影について復習して下さい。</p>	<p>★平原 尚久 ★村岡 宏隆</p>